

## 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777 (通話料無料)
上場証券取引所	大阪証券取引所市場第二部
公告の方法	日本経済新聞に掲載
証券コード	7214

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



〒636-0295 奈良県磯城郡川西町大字吐田150番地3  
TEL. 0745(44)1911(代表) FAX. 0745(44)1930  
<http://www.gmb.jp>



# GMB REPORT

## 第50期 年次報告書

平成23年4月1日～平成24年3月31日



代表取締役会長  
松岡 信夫



代表取締役社長  
阪口 有一

社訓



株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のことと存じます。また、平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。ここに、第50期(平成23年4月1日～平成24年3月31日)の年次報告書をお届けいたします。

Q<sup>1</sup> 当期の業績について、教えてください。

韓国・欧州への新車用部品の販売は好調。後半、海外補修用部品の販売が減速。

当期は、わが国においては、東日本大震災からの復興需要により、回復に向けて動きはじまりましたが、歴史的な円高水準が継続し、海外景気の先行きに対しても不安感が広がっております。海外においても、米国景気の復調がみられたものの、欧州諸国の財政問題や中国景気の減速感など不透明な状況が続いております。また、自動車業界においては、国内メーカーが東日本大震災やタイ洪水の影響による生産の停滞の影響を受けるなか、新興国を中心とした海外需要の拡大に対して、欧米や韓国など海外メーカーが販売を伸ばしております。

このような環境のなか、当社グループは、引き続き新車用部品・補修用部品の両市場において販売強化に努め、主に韓国や欧州の新車用部品市場における需要の拡大に対応して生産体制を増強するとともに、素材・エネルギーコストの増加や海外生産拠点における人件費の増加に対して、グループ内での最適地生産や海外調達拡大などコスト競争力強化に努めました。また、下半期に入り、急激な円高の進行や米国消費動向の影響などにより、海外補修用部品市場での販売が停滞しました。

この結果、当期の業績は、売上高が47,690百万円(前期比8.5%増)と

なり、営業利益は2,830百万円(同1.4%減)、経常利益は2,710百万円(同9.7%増)、当期純利益は1,493百万円(同5.2%増)となりました。

Q<sup>2</sup> 中期経営計画の進捗状況と来期の取り組みについて、お聞かせください。

新市場・新規顧客・新製品の開発に、スピードを上げて経営資源を注力。

平成23年4月より平成26年3月期までの3か年の中期経営計画を、スタートしております。

本中期経営計画期間中、「既存基盤(規模・量産技術)を活かした成長と収益確保」と「今後の成長アイテムの開発と新たな加工技術の確立」を中期的な経営の方向性として掲げ、韓国メーカーをはじめとするグローバルな顧客・海外補修用部品市場で培ったブランド力・海外拠点・量産加工技術などの既存の事業基盤を活かして新市場・新規顧客・新製品の開発を進めながら、将来の更なる成長へつなげる布石を打つことで、世界の新車用・補修用部品市場において着実な事業の拡大を目指しています。

当期につきましては、海外生産拠点の生産能力の増強をはかり、既存製品の販売拡大に努めてまいりましたが、新市場・新規顧客・新製品の開発については更なるスピードアップが必要と考えております。

来期につきましては、新興国を中心に海外市場での自動車需要の拡大基調が続くなかでも、素材価格の高止まりや為替変動など、当社をとりまく経営環境は、引き続き不透明な状況を予想しております。

このような環境のなかでも、引き続き韓国を中心に新車用部品市場にお

いては増産対応の設備投資をすすめ、補修用部品市場においては、タイ・中国拠点への生産移管と効率化をすすめ、海外調達を拡大するなどコスト競争力の向上に取り組んでいきます。また、次世代に繋がる新製品や新技術導入を推し進め、引き続き新車用部品と補修用部品の両市場における販売強化と収益力の強化に取り組む所存であります。

以上より、平成25年3月期の連結業績見通しにつきましては、売上高51,000百万円(前期比6.9%増)、営業利益3,100百万円(同9.5%増)、経常利益2,740百万円(同1.1%増)、当期純利益1,500百万円(同0.4%増)を計画しております。

Q<sup>3</sup> 配当方針について、教えてください。

高いレベルでの設備投資資金需要のなかでも、安定配当継続。

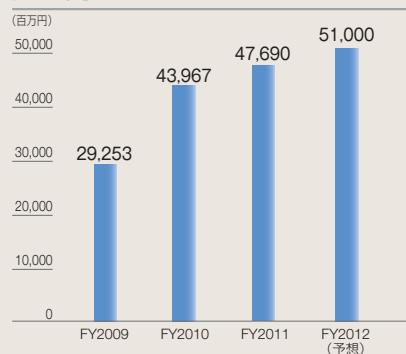
当社は、利益配分につきましては、将来の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、安定した配当を継続して実施していくことを基本方針としており、今後も業績動向を勘案しつつ、この水準を安定的に継続していく方針であります。

内部留保資金につきましては、今後予想される経営環境の変化に対応すべく、海外生産拠点の拡充、コスト競争力強化、市場ニーズに応える技術・製品開発体制の強化など、グローバル戦略の展開を図るために有効投資してまいりたいと考えております。

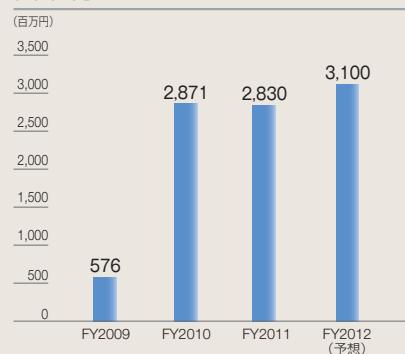
株主の皆様におかれましては、引き続き一層のご支援、ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

財務ハイライト

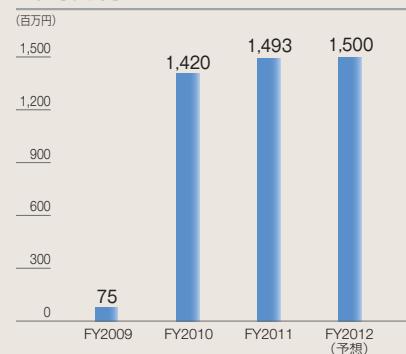
売上高



営業利益



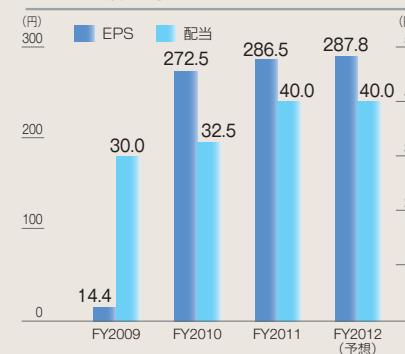
当期純利益



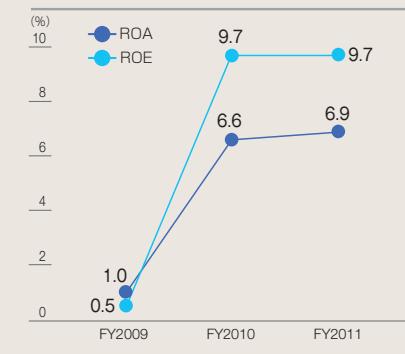
総資産／純資産／自己資本比率



EPS／配当



ROA／ROE

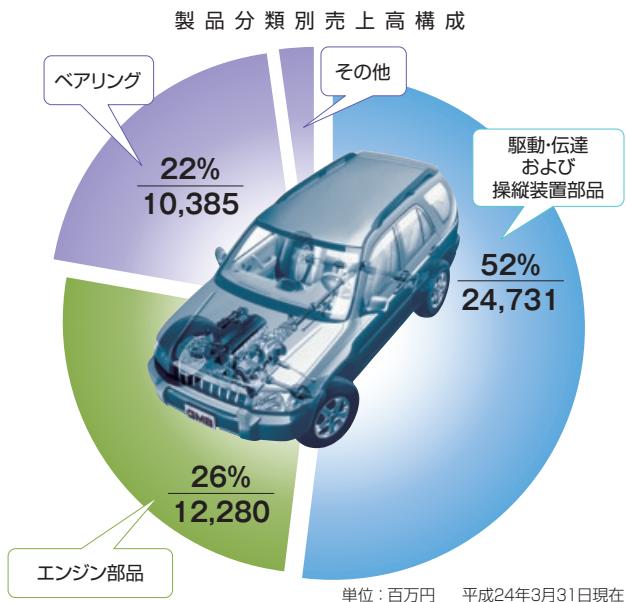


# 世界の自動車市場で活躍するGMBブランド。

GMBグループは、独立系の自動車部品メーカーとして、駆動・伝達系やエンジン部品といった多様な機能部品を、新車用部品と補修用部品の両市場に向けてグローバルに製造・販売しております。

韓国メーカーをはじめとするグローバルな顧客・海外補修用市場で培ったブランド力・海外拠点・量産加工技術などの既存の事業基盤を活かして新市場・新規顧客・新製品の開拓を進めながら、世界の自動車・補修用部品市場において着実な事業の拡大を目指します。

- 基本理念**
- HIGH QUALITY PRODUCTS
  - QUICK DELIVERY
  - COMPETITIVE PRICE
  - BEST SERVICE



## 駆動・伝達および操縦装置部品

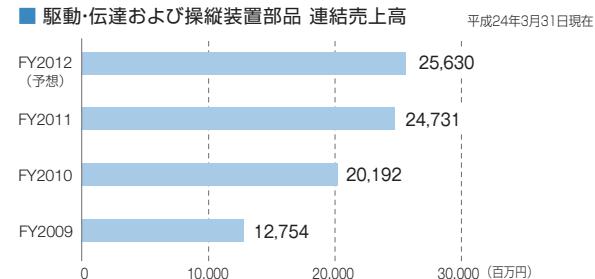
### (主要製品の説明)

#### ■ユニバーサルジョイント

GMBではドライブシャフトやプロペラシャフトというモジュールではなく、これらを構成する部品のなかで最も重要な部品であるユニバーサルジョイントのみを提供しております。そのため、シャフトサイズや使用条件に柔軟に対応することができ、OEM市場での実績を伸ばしています。また、補修市場においても幅広い品揃えでブランド展開を行っております。

#### ■バルブスプール

現在の主流となっているオートマチックトランスミッションにはアルミニウム材のバルブボディが使用されています。同系素材を使用したアルミニウム材バルブスプールは、オイルリークを抑えることが可能で、全体的な重量も減らすことができます。GMBの生産数は世界でもトップクラスを誇っております。



ユニバーサルジョイント



バルブスプール



サスペンション



## エンジン部品

### (主要製品の説明)

#### ■ウォーターポンプ

多くのメーカーにおいては、ウォーターポンプ組立のみの管理としていますが、GMBはウォーターポンプの寿命(軸受)、吐出性能(インペラー)、シール性能(メカニカルシール)、動力伝達(フランジ)、強度(ボディ)を担う主要構成部品を全て内製化しています。それにより、全製品の豊富な知識と経験に基づく高い信頼性から品質を保証することが出来るオンリーワンメーカーです。また、国産車、外国車、軽自動車から大型車や産業車、そして旧モデルから最新モデルまで非常に幅広い品揃えを展開しています。

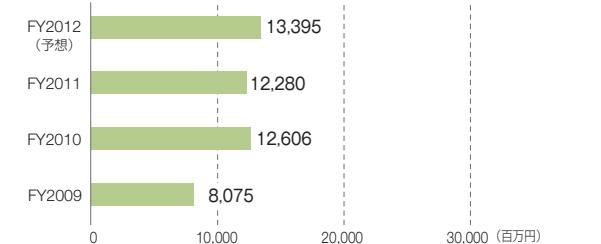
ウォーターポンプ



ファンクラッチ



### ■エンジン部品 連結売上高



## ベアリング

### (主要製品の説明)

#### ■テンショナー・アイドラー・ベアリング

先進ベアリング技術に基づいたGMBのテンショナー&アイドラーベアリングはお客様の厳しい仕様要求に応じて設計され、韓国・欧州の完成車メーカーへ長年供給し続けている実績があります。また、オートメーション化された自社設備によって自動的に不良品を感知することができ、徹底した品質管理で品質トラブルゼロを目指しております。現在は、各種メーカーの車種をカバーできる約500型番以上の品揃えを誇り、世界の補修市場での販売も好調です。

テンショナーベアリング



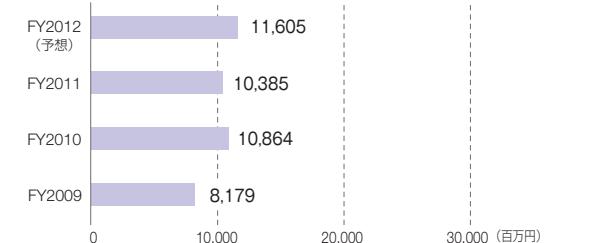
アイドラーベアリング



ボールベアリング



### ■ベアリング 連結売上高

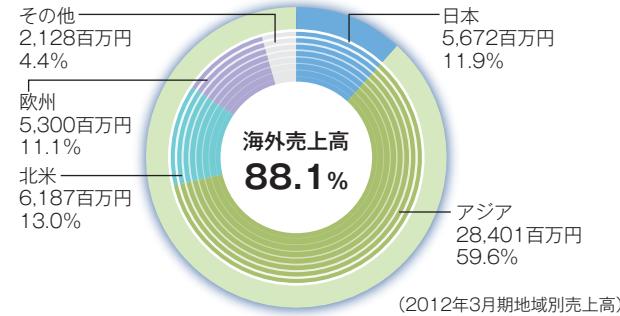
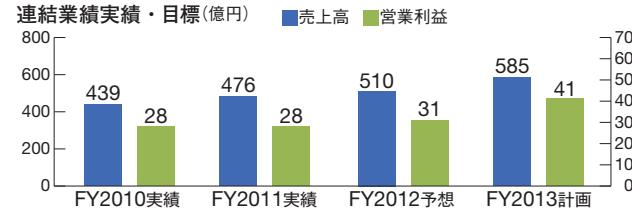




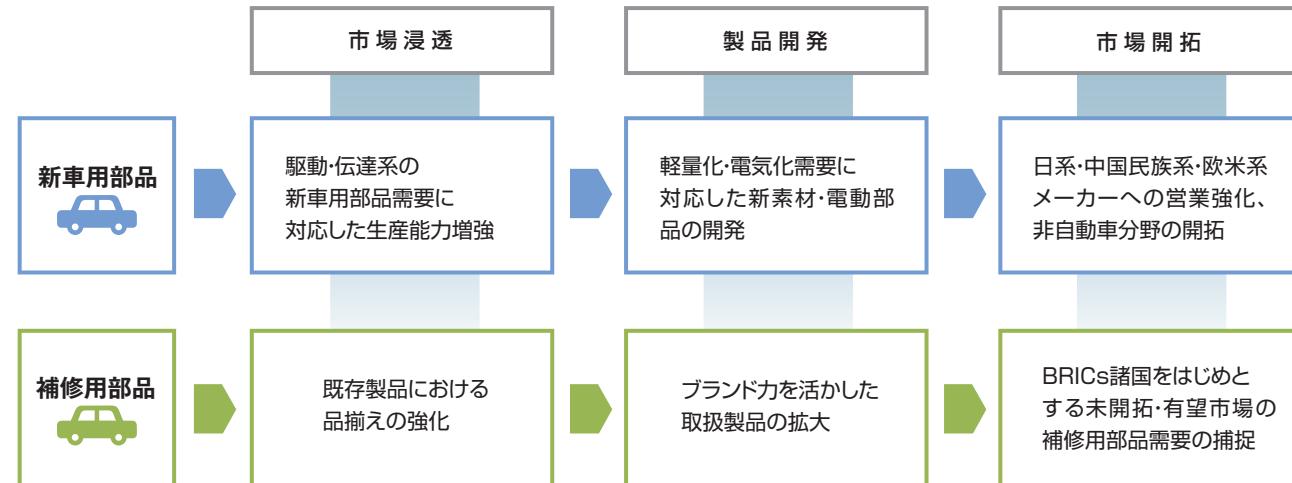
## 拡大するアジア自動車市場に対応するため、生産・物流体制を拡充。

近年の自動車業界では、国内市場が縮小傾向にあるなかで、新興国を中心とした海外需要は依然として拡大しておりますが、急激な環境変化にも晒されており、グローバルかつ柔軟に対応できる生産・物流体制が求められております。さらに、環境対応製品の広がりも技術的な対応課題となっております。一方、補修用部品市場においては、自動車保有台数が世界的に増加傾向にあるなかで、引き続き厳しい価格競争が続いており、これまでの海外生産移管だけではコスト・供給面で対応が難しい状況となつております。

このような環境変化に対応しつつ、事業を拡大していくための中期的な経営の方向性として、「既存基盤(規模・量産技術)を活かした成長と収益確保」と「今後の成長アイテムの開発と新たな加工技術の確立」を掲げております。



### 事業拡大戦略



## TOPICS

TOPICS  
01

### ホームページをリニューアル

当社は2012年4月1日付で、ホームページ(<http://www.gmb.jp>)をリニューアルしました。新しい製品情報やIR情報のページは情報量・見やすさ

ともに従来のものと比べて格段に向上しております。この機会に是非とも新しいホームページをご覧ください。



TOPICS  
02

### 中国に新工場建設

連結子会社の青島吉明美機械制造有限公司において、生産能力拡大を目的として、既存工場の敷地内に新しい工場を建設しました。これにより、主に欧州新車用部品市場において需要

が高まっている主力製品のユニバーサルジョイントの生産能力拡大が実現するとともに、より一層の競争力強化につなげてまいります。



TOPICS  
03

### 東京モーターショー出展

2011年12月に開催されました「東京モーターショー2011」に出展しました。開催場所が東京に変わった効果で総来場者数は前回より大幅に増加しました。GMBのブースにも自動車メーカー、部品メーカーや取引先など多数

お越し頂きました。EV、HEV車がこれから拡大していくなかで、乗用車メーカーからは電動式ウォーターポンプ、トラックメーカーからは電動式ファンクラッチが大いに注目を集めました。





連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	当期	前期	科目	当期	前期
	平成24年3月31日現在	平成23年3月31日現在		平成24年3月31日現在	平成23年3月31日現在
<b>資産の部</b>			<b>負債の部</b>		
<b>流動資産</b>	<b>21,967</b>	<b>20,290</b>	<b>流動負債</b>	<b>14,718</b>	<b>14,155</b>
現金及び預金	3,909	5,084	支払手形及び買掛金	4,715	4,515
受取手形及び売掛金	7,626	6,482	短期借入金	5,513	5,216
たな卸資産	9,459	7,925	1年以内返済予定の長期借入金	1,358	1,504
繰延税金資産	142	122	1年以内償還予定の社債	60	60
その他	919	742	未払法人税等	410	448
貸倒引当金	△89	△68	繰延税金負債	232	143
			賞与引当金	144	156
			製品保証引当金	248	226
			その他	2,034	1,883
<b>① 固定資産</b>	<b>18,515</b>	<b>17,966</b>	<b>固定負債</b>	<b>6,615</b>	<b>6,140</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>17,290</b>	<b>16,939</b>	社債	850	910
建物及び構築物	3,719	3,472	長期借入金	3,141	2,810
機械装置及び運搬具	7,434	6,904	繰延税金負債	33	32
土地	5,482	5,233	退職給付引当金	1,890	1,694
建設仮勘定	348	1,050	役員退職慰労引当金	228	241
その他	304	278	訴訟損失引当金	70	74
			負ののれん	37	66
			その他	363	310
<b>無形固定資産</b>	<b>249</b>	<b>194</b>	<b>負債合計</b>	<b>21,333</b>	<b>20,295</b>
その他	249	194	<b>純資産の部</b>		
<b>投資その他の資産</b>	<b>975</b>	<b>832</b>	<b>株主資本</b>	<b>18,356</b>	<b>17,058</b>
投資有価証券	233	209	資本金	838	838
繰延税金資産	410	329	資本剰余金	988	988
その他	348	313	利益剰余金	16,531	15,233
貸倒引当金	△16	△19	自己株式	△2	△1
<b>資産合計</b>	<b>40,483</b>	<b>38,257</b>	その他の包括利益累計額	△2,484	△2,072
			その他有価証券評価差額金	△30	△17
			為替換算調整勘定	△2,454	△2,055
			少数株主持分	3,278	2,975
			<b>純資産合計</b>	<b>19,149</b>	<b>17,961</b>
			<b>負債・純資産合計</b>	<b>40,483</b>	<b>38,257</b>

連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	当期	前期
	自平成23年4月1日 至平成24年3月31日	自平成22年4月1日 至平成23年3月31日
売上高	47,690	43,967
売上原価	39,086	35,662
<b>売上総利益</b>	<b>8,603</b>	<b>8,305</b>
販売費及び一般管理費	5,773	5,433
<b>営業利益</b>	<b>2,830</b>	<b>2,871</b>
営業外収益	350	104
営業外費用	470	506
<b>② 経常利益</b>	<b>2,710</b>	<b>2,470</b>
特別利益	15	46
特別損失	55	66
<b>税金等調整前当期純利益</b>	<b>2,670</b>	<b>2,450</b>
法人税、住民税及び事業税	654	530
法人税等調整額	△16	11
<b>少数株主損益調整前当期純利益</b>	<b>2,032</b>	<b>1,907</b>
少数株主利益	539	487
<b>当期純利益</b>	<b>1,493</b>	<b>1,420</b>

**POINT ① 海外での増産対応で34億円の設備投資を実施**

当期は、韓国・中国の生産拠点を中心に需要が拡大する韓国や欧州向けの新車用品市場に向けた増産投資を進めた結果、総額34億円（前期比約4.0%増）の設備投資を実施しました。

**POINT ② 経常利益は9.7%の増益**

素材価格の値上がりや海外拠点の人件費増加などにより、営業利益は前期並みにとどまりましたが、期末にかけて為替相場が円安ドル高・ユーロ高方向に進行したことにより、営業外収益において251百万円の為替差益を計上したことなどにより、経常利益は前期比9.7%増となりました。

**POINT ③ フリー・キャッシュ・フローが悪化**

税金等調整前当期純利益は前期比9.0%増と改善したものの、販売増加に伴う運転資金の増加や法人税の支払額の増加により営業活動によるキャッシュ・フローが減少したことに加えて、設備投資の増加など投資活動による支出も増加したため、フリー・キャッシュ・フローはマイナスとなりました。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	当期	前期
	自平成23年4月1日 至平成24年3月31日	自平成22年4月1日 至平成23年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,048	3,227
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,780	△2,962
財務活動によるキャッシュ・フロー	452	730
現金及び現金同等物に係る換算差額	△24	△161
現金及び現金同等物の増減額	△1,305	833
現金及び現金同等物の期首残高	3,701	2,867
現金及び現金同等物の期末残高	2,395	3,701
<b>③ フリー・キャッシュ・フロー</b>	<b>△1,732</b>	<b>264</b>



(平成24年3月31日現在)

(平成24年3月31日現在)

青島吉明美汽车配件有限公司

当社および GMB KOREA CORP. の各製品のうち、主にバルブスプール・ベアリングの製造をしております。



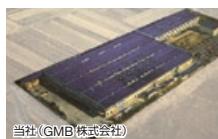
青島吉明美机械制造有限公司

当社および GMB KOREA CORP. の各製品のうち、主にベアリング・ユニバーサルジョイントの部品および製品の製造をしております。



当社(GMB株式会社)・八尾工場

自動車のエンジン部品であるウォーターポンプ、駆動・伝達および操縦装置部品であるユニバーサルジョイントを中心とした部品の製造・販売および各子会社の製品の販売を主に営んでいるとともに、グループ中核企業として先行研究開発や商品開発を行っております。また、販売上の特徴として、主に海外補修用市場向けに販売を行っております。



THAI GMB INDUSTRY CO.,LTD.

当社の各製品のうち、主にウォーターポンプ・サスペンションパーツの部品および製品の製造をしております。また、一部タイ国内販売も手掛けております。



GMB KOREA CORP.

第一工場・第二工場・瑞山工場

自動車部品等の各種ベアリング製品、エンジン部品であるファンクラッチ・ウォーターポンプ、駆動・伝達および操縦装置部品であるバルブスプール・ユニバーサルジョイントを中心とした部品の製造・販売を営んでいるとともに、当社同様に先行研究開発や商品開発を行っております。また、販売上の特徴として、主に韓国国内の自動車完成品メーカーおよびその系列会社への販売が中心であります。



GMB NORTH AMERICA INC.

ニュージャージー本社

GMB NORTH AMERICA INC.

カリフォルニア倉庫

当社グループ各社の製品を、米国を中心とした北米各国へ補修用部品として販売する販売会社であります。



THAI KYOWA GMB CO.,LTD.

2009年に協和工業株式会社との合併にて設立した持分法適用会社です。



商号 GMB株式会社  
 会社設立 昭和37年5月  
 資本金 838,598,000円  
 代表者 代表取締役会長 松岡信夫  
 代表取締役社長 阪口有一  
 従業員数 連結 2,700名 単体 403名  
 事業所 本社・奈良工場  
 〒636-0295 奈良県磯城郡川西町大字吐田150番地3  
 TEL.(0745)44-1911(代)  
 FAX.(0745)44-1930  
 Web Site http://www.gmb.jp  
 八尾工場  
 〒581-0814 大阪府八尾市楠根町4丁目36番1号  
 TEL.(072)997-1521(代)  
 FAX.(072)997-2481

グループ会社 GMB KOREA CORP.(韓国 慶尚南道昌原市)  
 GMB NORTH AMERICA INC.  
 (アメリカ ニュージャージー州)  
 青島吉明美机械制造有限公司(中国 山東省莱西市)  
 青島吉明美汽车配件有限公司(中国 山東省即墨市)  
 THAI GMB INDUSTRY CO.,LTD.  
 (タイ プラチンプリ県)  
 THAI KYOWA GMB CO.,LTD.  
 (タイ プラチンプリ県)

役員 (平成24年6月22日現在)  
 代表取締役会長 松岡 信夫  
 代表取締役社長 阪口 有一  
 取締役副社長 森 勝  
 専務取締役 小菅 清  
 専務取締役 金本 現一  
 常務取締役 桑村 周二  
 常務取締役 加藤 正  
 常務取締役 香田 剛昌  
 常勤監査役 水谷 晃  
 監査役 平野 邦男  
 監査役 浜本 章

発行可能株式総数 19,000,000株  
 発行済株式の総数 5,212,440株  
 株主数 1,993名  
 大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
松岡信夫	1,096,775	21.0
松岡登志夫	700,350	13.4
松岡光子	416,375	8.0
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	338,300	6.5
GMB従業員持株会	250,470	4.8
松岡百合子	234,625	4.5
松岡弘枝	122,500	2.4
金本順子	98,750	1.9
松岡祐吉	86,125	1.7
飯野達人	60,000	1.2

(注)持株比率は、小数第2位以下を四捨五入して表示しております。

所有者別株式分布状況

